

市議会だより

題字：清水風葵さん（当時千曲小学校4年生）
令和7年度入賞作品

こもろ 6月定例会

No. 210
令和8.8.19

特集

●トピック「学校再編事業」…15ページ

ぼいす
「みんなの食堂」のみなさん
…16ページ



【主な内容】

- 常任委員会活動報告…2～3ページ
- 6月定例会の概要…4～5ページ
- 個人質問(17名)…6～14ページ
- 手話コーナー…15ページ
- ぼいす・傍聴席・編集後記…16ページ

編集／広報委員会 発行／小諸市議会 責任者／議長 山浦利夫
〒384-8501 小諸市相生町3-3-3 ☎0267-22-1700
<https://www.city.komoro.lg.jp>



小諸市議会HP



Youtube配信

常任委員会の活動報告

総務文教委員会

委員会視察

大規模校義務教育学校から学ぶ

総務文教委員長 小林重太郎

(ハ王子市立いずみの森義務教育学校・品川区立品川学園)

芦原新校は令和10年4月に坂の上小学校、水明小学校、千曲小学校と芦原中学校を統合して義務教育学校として開校予定です。また小諸東中学校区の再編も見据え、当委員会は5月21日と22日に東京都内の大規模義務教育学校2校の視察を行いました。

2校に共通する質問事項と返答は以下の通りです。

Q 1000人を超える大規模義務教育学校における組織運営体制はどうか。

A 両校とも校長は1人で副校長を3人及び4人、主幹教諭5名及び7名配置で校務分掌を明確にしている。養護教諭は3人で連携し、スクールカウンセラーが常勤していて、個別の相談を受けている。

Q 大規模義務教育学校の成果と課題はどうか。

A 成果：・日常的に下級生が上級生にあこがれを持ち、上級生は下級生に思いやりを持って接している。・地域の方の支援や協力が厚くなる。

・9年間系統立てた指導や大



いずみの森義務教育学校

切なことを繰り返し指導することができる等。

課題：・開校時より児童生徒数が増え普通教室の増設が必要。・時間割を組む困難さ。・子ども個々を見るために教師がビジョンをしっかり持つ必要性等。

Q 小学校高学年の教科担任制は行っているのか。その際の小中の授業時間と検討したことは何か。

A 両校とも5年生から。50分授業、完全ノーチャイム。

Q 9年間同じ仲間と生活することで人間関係が固定したり複雑化したりすることが不登校に繋がらないか。

A 両校とも毎年クラス替えをし、担任も替えている。

Q 自治体として今後更に義務教育学校を設置するのか。義務教育学校以外の学校形態への方針転換はあるか。

A ハ王子市は全小学校、中学校で小中一貫教育を実施し、小中一貫校は随時施設一体型義務教育学校に移行していく。品川区は6校ある義務教育学校でそれぞれメリットを作り今後合同会議を行っていく。他形態に転換はしない。



品川学園



動画配信 はじめました！

「議場ってどこにあるの？」

「傍聴って誰でもできるの？」

「なんだか入りにくそう…」

そんな声にお応えして、小諸市議会広報委員会メンバーが「傍聴のご案内動画」を作成しました！

まずは動画で議場の雰囲気をのぞいてみませんか？



「議会って意外と身近なんだ」と感じていただけたら嬉しいです。

動画をご覧になった後は、ぜひ実際の議場にもお気軽に足をお運びください。

これからも、皆さまに議会をより身近に感じていただけるよう、さまざまな動画を配信していく予定です！

今後の更新も、どうぞお楽しみに！

市民福祉委員会

委員会視察

市民福祉委員長 土屋 利江

小諸市にユースセンター・ユースワーカーの設置促進を求める。

5月13日、富士見町「ユースセンターまるいち」と茅野市「CHUKOらんどチノチノ」。5月14日松本市「インクルーシブセンター」へ行政視察を行いました。

【視察内容】

○ユースセンターまるいちは、2023年に認定NPO法人カタリバの「ユースセンター起業塾」に採択。拠点場所探しに苦勞するが、富士見町駅前の旧店舗を利用し、2024年10月に開所。スタッフは「NPO法人子どもの未来を考える会」。ユースワーカーは9名、常時2名を配置。主に中高生(10代の若者)が利用。無料Wi-Fi・卓球台・カラオケ・漫画・くつろぎスペース・ボードゲームを設置。開所から約175日で延べ870人が利用。多くの中高生の居場所として高い満足度を得ています。

○CHUKOらんどチノチノは、茅野駅前空洞化対策と相重なり、乳幼児期と思春期(中高生広場)を中心とした茅野市子ども館が誕生。



音楽スタジオ

CHUKOらんどチノチノ(中高生広場)は、27人の中高生が建設委員会として設計段階から関わり、開館後の運営もこども運営委員会に任せています。施設内は、多目的ホール・学習室・食堂・音楽スタジオ・ダンスルーム・卓球台など若者がエネルギーを発散できる設備が整っていました。



ダンス練習室

○松本市インクルーシブセンターは、松本市発達障がい児等の支援に関する条例施行に基づき、令和6年4月長野県初のインクルーシブセンターとして開所。発達障がいや発達に関する悩み、医療的ケアが必要なお子さんや小児慢性特定疾病のお子さんなどの相談窓口。「まつもとふたばネットワーク(電子①連絡帳)」を活用し、こどもの情報を一元化し、専門家が乳幼児期から継続して切れ目のない支援をしています。また、医療的ケア児等コーディネーターやサポートコーディネーターの相談支援があります。

産業建設委員会

委員会視察

産業建築委員長 楚山 伸二

「県道昇格」へ向けた取組み(嬬恋村)と「滞在型観光」への取組み(足利市)

5月18日・19日の2日間、産業建設委員会メンバーで足利市と嬬恋村の行政視察を行いました。

嬬恋村と小諸市は、浅間山を挟んで約30kmの公道で結ばれています。小諸側は坂の上小学校の交差点からチェリーパークラインを通り、高峰マウンテンパーク(旧アサマ2000スキーク)まで全て舗装されていますが、県境から群馬県側の6.5kmが「未舗装」となっており、市道・村道から県道への昇格に向けた課題となっています。自然災害時における観光客や車両の孤立無援を防ぎ、緊急避難路確保といった観点から今後も国や両県への要望や働き掛けを続けていく必要があります。

足利市は、足利学校(日本最古の学校)や鏝阿寺(ばんなじ/足利氏の氏寺)を中心とした中世都市の歴史的景観や、織物産業に由来する産業遺産、藤棚で有名な「あしかがフラワーパーク」といった新たな観光拠点を有する人口約13万人の都市です。近年では、夜景ツアーや足利灯り物語、観光施設のイルミネーションなど夜間観光の開発や、周辺都市との連携により

「滞在型観光」の推進を重視しています。

さらに、障がい者雇用を活かし、様々な国際会議等で採用されている「ココ・ファーム・ワイナリー」の取組は、国内有数のワインブランド(テロワール)を目指していく小諸市としても非常に参考となりました。【PR:千曲川ワインデイズ9/5(土)&6(日)小諸市内各地で開催】



↑ココ・ファーム・ワイナリー醸造場にて

←ココ・ファーム・ショップ&カフェにて

問 答 意

質 疑 弁 見

令和8年度補正予算を可決

6月定例会は、6月12日から7月8日までの27日間の会期で開催されました。
理事者提出議案は、条例案5件、予算案7件、契約案件3件、人事案件1件の計16件、議員提出議案については3件の、合計19件で、すべて原案のとおり可決しました。また、請願1件は一部採択、陳情については、1件が採択、2件が趣旨採択、1件が不採択となりました。

議会だよりでは、条例・予算審査等における主な審議経過をお知らせします。

令和8年度 一般会計補正予算

◆補正予算第2号（1億2千万円の増額補正）

防災対策費運営費

問 段ボールベッドの入替えについて、使用限度や廃棄の目安となる基準は設けられているのか。

答 耐用年数は明確に定められておらず、保管状況による部分も大きいですが、今回入れ替える段ボールベッドは、これまでの防災訓練で傷みが進んだことから、今回エアベッドへの入替えを決定しました。なお、入替え後の段ボールベッドの一部は、備蓄数から除外するが、廃棄はせず、引き続き訓練・展示用として活用する。

重喫煙者低線量CT肺がん 検診実証事業

問 対象者はどのように選定するのか。また、実証事業の実施期間とその後の本格実施等への見通しはどうか。

答 対象者は重喫煙者（※）

を要件として選定する。該当者は概ね400人を予想している。実証事業の実施期間は1年間であり、国が令和7年度に作成したマニュアル案に基づき、事業を行う中で課題や改善策を検証するものである。

観光振興事業

意 宿泊税市町村交付金の使途に関して、視察した映画館では、翻訳機能による複数言語での受付対応が可能で、ユニバーサルデザインの考え方が取り入れられていた。このような先進的な翻訳技術は、本市の宿泊施設を含む観光受け入れ環境の整備においても活用できる可能性があるため、参考にしていただきたい。

条例など

総務文教委員会

◆芦原中学校区義務教育学校校舎等整備工事 請負契約

問 当初の工事費35億円（市

債22億円、基金10億円、国交付金3億円）に対し、実施設計や追加工事等で総額が約45億円と10億円増加したが、増額分に対する補助金や地方債、基金等の財源内訳の見通しはどうか。

答 国の補助金等の確定額は未定だが、詳細設計が固まったことから、できる限り多くの補助金の配分を国等へ働きかける。不足分には地方債を充当するほか、学校建設準備基金10億円（令和8年度に4億円、令和9年度に6億円）を活用する計画である。

市民福祉委員会

◆小諸市印鑑条例の一部を改正する条例（在留カード又は特別永住者証明書と個人番号カードを一体化した特定在留カード又は特定特別永住者証明書の運用開始に伴う改正）

問 出入国管理及び難民認定法の改正により特定在留カードの取得手続きが複雑になるのではないか。

答 在留カードとマイナンバーカード機能を合わせたものであるため、従来より時間がかかるが、2枚持っていた方が1枚で済む利便性があり、マイナ保険証機能やコンビニ交付など今後の活用が期待される。

人事案件

◆小諸市農業委員会委員選任の同意について

山浦敏捷氏 高地富男氏
小林憲一氏 柳沢敏典氏
森住到氏 平井直一氏
塩川範仁氏 小山田武氏
美齊津順子氏 清水清和氏
掛川俊一氏 堀内廣氏
篠原博男氏 南澤一巳氏
小山昭満氏 碓氷すみ江氏
金子裕之氏 小林正明氏

◆上下水道事業の老朽化対策・耐震化と経営基盤強化に向けた支援を求める意見書

本意見書は、上下水道事業の経営環境が厳しさを増す中、議会として国に対し、施設の老朽化対策・耐震化への財政

※ 重喫煙者は50歳から74歳の方で、『喫煙指数』により算出し、1日の喫煙本数に喫煙年数を乗じた数値が600以上の方を基本要件とし、禁煙後15年以内の方も含める。

支援、技術職員の確保と人材育成支援、官民連携・広域化への支援充実を要請するもの。
本会議での採決の結果、全会一致で可決された。

請願・陳情

◆子どもたちの未来を見据えた学校再編と市民参加を求める請願

本請願は、小諸市の学校再編が市民参加の議論の場が不十分なまま進められているとし、①市民が参画できる審議会などを設置して小諸東中学校区の学校再編構想や多様な学びを実現できる市全域の学校制度のあり方を審議すること、②審議は自治基本条例25条に基づいて対応することを求めるもの。

本会議での採決の結果、賛成多数で「①市民が参画できる審議会などを設置して、小諸東中学校区学校再編構想を審議すること、及び②を採択とする一部採択」と決した。

請願者 学校再編で住民合意を実現する小諸市民の会 蒔田豊明

◆小諸市内の学校統廃合によって生じる廃校の金次郎像に関する陳情

本陳情は、学校再編により水明小学校と千曲小学校が廃校になった際の、両校の二宮金次郎像について、①一体を芦原新校へ移設すること、②一体を望郷の思いを抱くブラジル金次郎会へ寄贈することを求めるもの。

総務文教委員会での採決の結果、賛成少数で「不採択」と決した。
陳情者 沼田清

◆OTC類似薬の追加負担を行わないことを求める陳情書

本陳情は、政府がOTC類似薬に追加負担を求める方針を決めたことに對し、受療権の侵害や受診控えにつながるとし、国に對し、OTC類似薬の追加負担を

行わないことを求める意見書の提出を求めるもの。

市民福祉委員会での採決の結果、賛成多数で「趣旨採択」と決した。

陳情者 佐久地区社会保険推進協議会 代表委員 林春二、高見澤好市、橋本一夫、荒井龍馬、小林吟子、新津俊治

◆公立中学校における平和教育及び校外学習の政治的中立性と安全確保を求める陳情

本陳情は、公立中学校の平和教育や校外学習の政治的中立性・安全確保を求め、市教委に對し①平和教育の政治的中立性に関する基本方針の確認、②保護者への説明責任と安全管理の徹底、③過去の記録の確認、④懸念事例の実態把握を求めるもの。

総務文教委員会での採決の結果、賛成多数で「趣旨採択」と決した。
陳情者 学校教育の中立性と透明性を守る長野県民

の会 提出者代表 間篠義明

◆「さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保」と「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める陳情書

本陳情は、子どもにゆきとどいた教育を実現するため、国に對し、少人数学級推進など義務標準法の改正、働き方改革に必要な予算措置、義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率の2分の1への復元を求める意見書の提出を求めるもの。

総務文教委員会での採決の結果、全会一致で「採択」と決し、内閣総理大臣ほかへ意見書を提出した。
陳情者 長野県教職員組合 佐久支部 小諸市単組代表者 花岡正次

6月定例会の提出議案及び審議結果

↓

詳細は、ホームページ、もしくは議会事務局まで。

本会議における主な議案の表決結果

本欄に記載以外の議案については全会一致で原案可決されました。○は賛成、×は反対、欠は欠席をあらわしています。
なお、請願について、「採」は採択、「一部」は一部採択をあらわしています。議長は、表決に加わりません。※は議長をあらわしています。

議案名	市議会						幸笑みらい					日本共産党		公明党		南の風			
	青木 春美	高橋 公	小林 一彦	丸山 正昭	竹内 健一	田中 寿光	清水 みき枝	中村 美奈子	土屋 さつき	楚山 伸二	小林 重太郎	掛川 剛	早川 聖	土屋 利江	柏木 今朝男	小林 哲子	清水 喜久男	田邊 久夫	山浦 利夫
子どもたちの未来を見据えた学校再編と市民参加を求める請願	一部	一部	一部	一部	一部	一部	採	一部	一部	採	一部	採	採	一部	一部	採	一部	一部	※

一般質問

個人質問 17名

一般質問とは、議員が「市政が市民のために適切に行われているか」を質すために行うもので、代表質問と個人質問があります。

代表質問は、会派を代表して質問するもので、個人質問は各議員が質問するものです。

一般質問の紙面は、質問した議員個々の責任で作成しており、質問内容の一部を要約したものです。ご不明な点は議員にお尋ねください。また、正式な記録は会議録をご覧ください。

議員の連絡先は、ホームページの議員紹介をご覧ください。議会事務局にお問合せください。

6月定例会
YouTube動画

有害鳥獣対策「ガバメントハンター」の活躍

青木春美



質問

新たな対策や取り組みはあるか。

市長

既成概念では予測し得なかった野生鳥獣の出没や人身被害が、私たちの生活圏で現実のものとなりこの危機的な状況に対し、新たな対策を整えている。第一に、専門職による専従体制の確立。ガバメントハンターを農林課に専従配置し、行政判断と現場対応を一体化させ、緊急事態への即応力を飛躍的に高めた。狩猟免許と現場経験を持つ市内在住の人材「集落支援員」として採用し、狩猟免許を持つ職員で野生鳥獣対策業務に従事し、ガバメントハンター3名体制となる。第二に、広域連携の取組みで大町市と「信州ガバメントハンター協議会」を発足しネットワークの構築や情報共有基盤の整備に取組み、緊急銃猟制度への対応を見据え、緊急銃猟支援システム導入予定で実地訓練を実施する。また、新たな体制を強固にし、既成概念にとらわれない柔軟かつ迅速な対策を推進する。

質問

設置の目的と期待は何か。

市長

野生鳥獣対策環境が複雑かつ深刻な状況の中、行政判断（ガバメント）と、現場の実務（ハンター）の両面を兼ね備えた専門職員を配置し、迅速かつ的確な初動対応体制を確立する事である。ガバメントハンターの本質、設置の効果は、地元猟友会とのスムーズな連携構築にあると考え、専門的な知見に基づく正確、迅速な初動対応への拡充により、地域に密着した対応力を高めることを期待する。



ガバメントハンター vs クマ

9月定例会の予定（8/28～9/30）

月	火	水	木	金	土	日
8/24	25	26	27	28 本会議(提案説明等)	29	30
31	9/1	2	3	4	5	6
7 本会議(一般質問)	8 本会議(一般質問)	9 本会議(一般質問)	10 総務文教委員会・分科会	11 総務文教委員会・分科会	12	13
14 市民福祉委員会・分科会	15 市民福祉委員会・分科会	16 産業建設委員会・分科会	17 産業建設委員会・分科会	18	19	20
21	22	23	24	25 予算決算委員会	26	27
28	29	30 本会議(委員長報告等)	10/1	2	3	4

*予定のため変更になる場合があります。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

傍聴をお待ちしています





災害に強いまちづくり・「知」を育む図書館

柏木今朝男



質問

災害の複合リスクを見据え国の防災力強化総合交付金を活用した防災体制の強化とスフィア基準を踏まえた避難所環境の改善目標を計画へ位置付けるべきではないか。

市長・危機管理課長

交付金は有効な選択肢だが活用は慎重に検討する。避難所環境はスフィア基準に適合していないが、指標として位置付け、要配慮者スペース設置等段階的改善を進める。

質問

学校図書館の充実に向け、学校司書の専門性をどう認識し、読書習慣や、学力向上への影響をどう分析するか。配置状況や雇用環境の改善についての考え方はどうか。

教育長・教育次長

学校司書は、読書活動の推進、探究学習の支援、情報活用能力の育成など重要な役割を担っている。読書習慣の定着は学力等の向上に効果があると分析する。全小中学校に配置し研修や情報交換を通じ、専門性の向上にも取り組んでいる。

質問

市立小諸図書館が、「地域の知のハブ」として果たすべき役割について、暮らしや地域課題の解決を支える情報拠点としての機能強化、全世代が交わる居場所・交流拠点としての機能強化、学校図書館との連携の実績や、今後の展望などについての考え方はどうか。

教育長・教育次長

「みんなの役に立つ図書館」を理念に市民協働で整備され、多様な交流や情報提供を進めている。今後も、知の情報拠点として学校現場と密接に連携し質の高い学びに結び付く環境づくりを進めたい。



未来を創る：命を守る防災と知を育む図書館



小水力発電・ヘアドネーションの啓発活動

土屋利江



質問

小諸市は、令和5年に環境省の脱炭素先行地域に選定され、都市機能誘導区域全域を対象とした再生エネ電源の確保とエネルギーの地産地消を進めている。太陽光発電だけでなく、小水力や下水熱といった地域の未利用エネルギーの活用を計画しているが、小水力発電の進捗状況はどうか。

市民生活部長

小水力発電事業は、深沢ダムでの開発計画を進めている。令和7年度末で詳細設計が完了。今年度中に地元管理委員会と覚書を締結、発電所工事に着工、順調に進めば令和10年10月に発電を開始予定。

質問

西小諸地区からの要望書の回答と今後の地元説明会はどうか。

市民生活部長

主な要望の回答は、渇水期のダム放流要請への即時対応は、農業用水の確保を最優先。熊対策とフェンスの強化は、フェンスの設置は想定していないが、熊対策スプ

質問

レーの配置を計画している。指定避難所への災害時の送電は困難である。地元説明は、事業主体であるシーエナジーが中心に実施する。病気や治療の影響などで、髪を失った子どもたちに寄付された髪で作る医療用ウィッグを無償提供する「ヘアドネーション」の取組みが広がっている。子どもたちへのヘアドネーションの啓発活動の取組みはどうか。

教育長

市内の小中学校においても個人的に行った事例が何件かある。理解が深まるように紹介していく。



深沢ダムの景観



議員と区長「兼職禁止」は誰のため!?

楚山 伸二



質問

区長会が実施している「市議会議員と区長の兼職のあり方に関するアンケート」の目的の一つは、「行政への不当な影響（付度）を解消すること」とあるが、議員と区長の兼職を解消させることによって、行政にはどのようなメリットがあるのか。

総務部長

区長会の自主的な取組みに影響を与えるので答弁は差し控える。

質問

このアンケートに記載されている「役割の混同・役割の相反」「市民への不透明感」「行政への不当な影響（付度）」とは具体的にどのような事案なのか。

総務部長

行政としては答えられない。

質問

学校再編に関する「フル仮設校舎」実現に向けた署名や請願活動はPTAを主体として行われ、その背景には行政の意向が影響していたのではないかと指摘した。今

回は「議員と区長の兼職」という行政運営にも関わるテーマについて、行政が特定の方向へ区長会を誘導しているのではないのか。

総務部長

市の関与はない。

質問

市長が区長会を直接招集できる会則は、行政側が区長会の活動や意思決定に影響を及ぼし得る仕組みと言える。今回のアンケートの実施に際し、市側から区長会役員に対して何らかの依頼や助言、指導等を行った事実はあるか。

総務部長

ございません。

役割の混同
役割の相反
市民への不透明感
行政への不当な影響・付度
区長任期満了まで認めるべきか

アンケートに記載されている言葉



7千円こもポンと6千円商品券のバランス

高橋 公



質問

商品券の目的と実績はどうか。

市長

目的は生活者支援で、実績は利用額2億38百万円で利用率は97.6%であった。

質問

こもポンの目的と実績はどうか。

市長

目的は市内事業者の売上向上を図ることで、クーパーの利用実績額は1億2千万円で、執行率109%であった。売上額は推定6億円以上であった。

質問

なぜ、こもポンは利用者を市民に限定しなかったのか。

市長

理由は、観光消費の拡大、市外の新規顧客の拡大、「こもポン」の知名度と利便性の向上である。

市民・市外を問わず受け入れた結果、利用者数が前回比54%増加し、加盟店舗数も43店舗増加した。市外利用者の受け入れが、市内事業者の売上向上に実際に貢献し

たと捉えている。

質問

自治体の自由度の高い地方創生臨時交付金の活用は、小諸市独自の手法で、スピーディーに事業化しているように感じるがどうか。

市長・企画課長

自由度の高い臨時交付金の使い道は、コロナ禍以降の手法であるが、庁内各部署において地域の声を基に事業提案してもらい、政策会議で複数の事業案を検討し、市民ニーズと事業効果を総合的に判断する。

今後同様の事業があれば、同じような手法でやらせて頂きたい。





なぜ今、対話と協働の学びを導入するのか

小林 一彦



質問

なぜ今、対話と協働の学びを導入するのか。

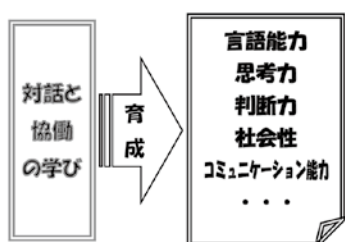
教育長

デジタル化やグローバル化が急速に進む社会で、活用できる資質・能力は、学び手である子どもが本気になって学ぶことによって育成される。そのためには、全ての教員の指示によって授業が進んでいく従来の一斉授業から、子どもに学びを委ねる時間を増やし、子ども同士が主体的に係わり合い、対話的に学び合う授業への転換が必要だと考えている。

本市では、学校再編を、今求められる教育や学びの在り方を具現する機会と捉えて、学びにおいては日本の教育学の第一人者である東京大学名誉教授の佐藤学先生が提唱し、全国でも3千校ほどが導入している対話と協働の学びを進めるに至った。

質問

従来の一斉授業と比べてどこがどう変わるのか。



「対話と協働の学び」で育つ力

教育長

従来の一斉授業では、1時間の授業で自分の考えを発言する子どもは多くて10人程度。4人グループやペアによる学びにおいては、学習集団が少人数のため、一人一人が発言する機会は一斉授業に比べて圧倒的に増える。これにより、言語を活用する場面が増え、その能力は確実に伸びると期待できる。この学びが深まり、言語の活用が発表型から対話型に移り変わっていくことで、自分の考えを構築したり、自分の考えを修正したり、あるいは一層推し進めたりと、より思考する学びへと高まっていく。



未利用資産の活用・処分を

田中 寿光



質問

未利用資産の活用・処分について、まずは実行計画を作成すべきだがどうか。

市長

未利用資産の活用・処分については、公共施設等総合管理計画における資産マネジメントの展開として、現在未利用となっている施設や土地、今後施設の統廃合に伴い不要となる施設や土地については、貸付などを含めた、有効活用や売却による財源化を検討する方針を示している。今年度より、未利用資産の活用・処分をより推進することを目的として、公共施設マネジメント課を新設したので、公共施設総量の削減に向けて、今後もスピード感をもって進めていく。

質問

用途廃止施設の活用・処分に関する運用ガイドラインにある民間開放が確定した施設について、企業誘致などによる、民間活力の導入状況はどうか。

市長

現在のところ旧中央保育園のみとなっている。公募型プロポーザル方式により、購入希望者を募集したが、応募期限までに届出がなく企業誘致を主体として活用する方針に切り替えた。今後もガイドラインの作業フローに基づき、施設の状況などに応じた最適な方法を選択しながら、積極的に活用・処分を進めていく。



資産の活用・処分を



佐久平駅アクセス道路・芦原新校再編事業

土屋さつき



質問

佐久平駅アクセス道路新設整備に係る3月の事業計画説明会の実施状況はどうであったか。

市長

昼夜の部合計126名の参加があり、事業の目的や路線の計画を示すルート案の説明を行った。参加者から地域の安全性や佐久平駅等への利便性が向上する。将来的に地域や小諸市の発展に不可欠な道路である等の理解や道路予備設計業務の実施への了解を得た。一方信号機設置、既存の県道小諸中込線や集落道路の早急な安全対策、整備後の交通量増加への懸念、千曲ビュースラインから小諸市街地方面への延伸要望等の意見もあった。

質問

土地所有者の参加状況とその後、の連絡についてどうか。

建設水道部長

土地所有者は約6割の参加であった。参加できなかった方には当日の資料を送付し事業の周知を行った。今後も土地所有者との対話



体育館と仮設校舎をつなぐ渡り廊下

を継続し、それぞれの事情や意見を丁寧に向い進めていく。

質問

芦原新校仮設校舎建築工事と仮設校舎への引越し、校舎建築工事中に向けての進捗状況はどうか。

教育長

仮設校舎の完成は8月末を予定し、その後教員や生徒保護者に協力いただき引越し作業を行う。

質問

工事中の給食はどうか。

教育次長

給食の提供は工事契約をして工程を詰めてから、子ども達にとって最適な選択肢から選んでいく。



幼児期から始める性教育・推進フードリボン

小林哲子



質問

助産師を保育園に迎えて、性教育講座を行うモデル的な研修事業を展開するというのはどうか。

保健福祉部長

性教育の機会を確保することは、基本的には可能かとは思っているが、保護者も含めた研修の機会となると、就労家庭であること、また、園児のみで実施する場合も保護者の理解を得て行う必要があると考える。

しかし、園児にとっても保育の中でも生かせる知識であり、保育園にも生かせるものとなると考えている。県助産師会等へ確認しながら、モデル的な実施も含め、情報収集を行っていく。

質問

フードリボンの仕組みについてどのように評価しているか。

市長

多様な業態の店が参加できると、SDGsの取組みにもつながるものである。店舗の営業日に合わせて利用できる利便性などが挙



被害者・加害者・傍観者にならないために

げられる。利用者側としては、身近な飲食店で支援を受けられることから、自然な形で利用できるというメリットがあると考えている。また、支援したい方にとっても身近な場所で支援ができる仕組みでもあり、既存の公的福祉サービスとこども食堂などの地域の活動の隙間を埋めるための、新たな民間主導のセーフティネットとしての役割があり、取組みとしては評価できるものと考えている。

今後も食の支援に関する啓発活動を引き続き行う中で、フードリボンという食の支援があることを関係機関にも情報提供していく。



体育施設整備・部活動の移行状況はどうか

丸山正昭



質問

体育施設の改修計画の進捗状況はどうか。

教育長

市民の皆様がスポーツを通じて健康を維持し、世代を超えた多様な交流や活発な地域活動を生み出すための基盤として、まず、今後の国民スポーツ大会において、競技会場となる「こうりょうアリーナ小諸（総合体育館）」の改修工事を令和7年度にトイレ改修、令和8年度にアリーナの空調設備及び照明改修（LED化）工事を集中的に行うことで、安全で利便性の高い競技環境を整えていく。

また、その他の体育施設についても、市民の皆様のライフスタイルに合わせた多様なスポーツ活動を支える大切な拠点であると認識していることから、各施設の老朽化の度合いや安全性の確保、利用頻度や市民の皆様からのニーズなどを総合的に勘案し、しっかりと優先順位を付けた上で、効果的かつ効率的に対応を考えていく。



2028国スポレスリング会場の総合体育館

質問

部活動の地域移行状況はどうか。

教育長

小諸市部活動地域移行推進協議会において、本市における具体的な地域展開の在り方についての教育委員会案を提案する運びとなっており、指導者の確保や受入れ体制など移行の準備が整った部活動から開始し、本格的な展開に当たっては、活動場所や生徒の移動手段の確保、活動中の安全確保、さらには指導者の質の保証と量の確保等が挙げられるが、小諸市の実情に即した最適な部活動の地域展開を全力で推進していく。



改名「燃やすしかないごみ」・駐車場対策！

中村美奈子



質問

令和7年度の組成調査結果を踏まえ燃やすごみの課題はどうか。

市長

適正排出率61・1%はH29の60・4%に近い水準まで後退し、中でも古紙類の混入割合が増加。悪化の要因を的確に捉えごみ減量と分別対策や周知啓発に取り組む。

質問

約40%の不適正排出ごみの経費3千100万円の損失金はどうか。

市民生活部長

市の財政にも直結する課題であり非常に強い危機感を持っている。これまでの啓発が市民の実際の行動に結びついていない現状から今後は着実な分別と無駄な経費抑制に繋がる仕組みづくりに取り組む。

質問

特に生ごみ袋の価格が高いので10枚売りなど柔軟な販売はどうか。

市民生活部長

他自治体事例や製造・販売店の意見も参考にしながら市民ニーズにあった販売形態を研究したい。

質問

駐車場対策として各種団体と連携しイベント開催時等期間限定の実証実験から始める考えはあるか。

市長

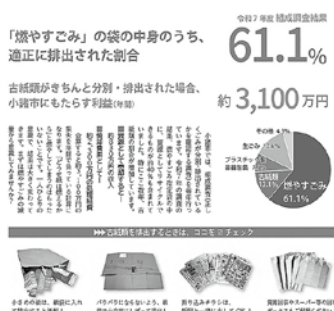
まずは期間限定や大きなイベントで試して効果が得られるか検証するには非常にいい方法だと思う。

質問

市民の個人的な土地活用から利益が還元される有料駐車場シェアは社会貢献の考え方からも市民の幸福度向上につながるだろうか。

産業振興部長

市民ニーズと色々な課題を踏まえた中で研究していく必要がある。



分別には市民の協力が必要！広報こもろより



出産無償化へ保険適用、新生活・婚活事業は

竹内 健一



質問

国は令和10年6月に正常分娩の無償化とする法改正を進めている。出産費用の実態はどうか。

市長

近隣6施設の産科医療機関での正常分娩は55〜75万円である。

質問

妊婦期から子育て期まで切れ目のない支援はあるか。

市長

令和6年4月に開設した子ども家庭センターにて妊娠・出産・子育てを相談できる体制を整え、今年度は産後ケアとして宿泊型に加え通所型と訪問型を拡充し、育児に対する支援を図っている。また女性の健康管理支援アプリ「ルナルナ」の実証実験を通じ、妊娠を希望する支援を始めている。

質問

分娩施設の減少や産科医師不足への課題は、どう捉えているか。

市長

周辺自治体や県と連携し地域医療機関と分娩・周産期医療を広域



産む不安 解消への一手！

的な枠組みで取り組んでいる。また令和6年から医師定住補助金制度を設け一定の補助をしている。

質問

新規の結婚新生活支援事業とは。

市長

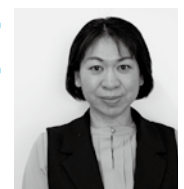
婚姻した世帯への経済的支援で婚姻・出生数増加の施策である。

質問

婚活についてはどうか。

企画課長

昨年観光局が企画する「浅間山ボルケーノラブ活」で131名が参加した。カップル成立率が高く過去21回開催し、これまでに13組が成婚しておりその事業を支援する。



“産みたい”に寄り添う、妊娠・不妊支援

清水みき枝



質問

「ルナルナ」の導入目的は何か。

市長

人口の自然増を重要課題と位置付け、「産みたい」に寄り添うまちの実現を目指している。

質問

先進自治体の例もあり、二年間の無償提供終了後を見据え、今から戦略を検討すべきではないか。

保健福祉部長

検討しなければならない。

質問

人権への配慮についてはどうか。

市長

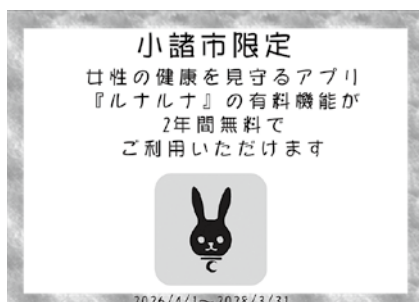
妊娠を望む人も望まない人も、不妊に悩む人も含め、誰もが自分らしく安心して暮らせるまちなかに現に向け、女性の健康支援、不妊治療支援、働きやすい環境づくり、人権意識の向上に取り組む。

質問

不妊治療を受ける方への相談・支援体制の充実はどうか。

市長

県の専門相談センター「妊活な



すべての女性に！一緒に健康管理しませんか

質問

「結婚しないのか」「子どもはまだか」といった無意識の言葉が、地域やふるさととの距離を生んでしまうことへの認識はどうか。

市長

社会的な圧力は若者や女性の負担になると認識している。安心して帰郷し暮らせる環境づくりを進め、誰もが自分らしく生きられるよう人権意識の向上に取り組む。



人口減少社会での持続可能な地域づくりは？

掛川 剛



質問

人口減少社会で高齢化が著しく進んでいる区の現状から現在の自治組織の仕組みを将来においても維持できると考えているか。

市長

一部の行政区の人口減少と高齢化の進行は顕著で将来的な自治組織の維持は難しい状況であり、継続は困難と受け止め持続可能な地域運営の在り方について検討が必要な時期にあると認識している。

質問

中山間地域の将来像について、行政は地域と共に検討する必要があると考えるがどうか。

市長

人口減少社会を見据えた持続可能な地域づくりの実現には、地域と行政との協働が不可欠と認識している。引き続き地域と将来像の実現に向けた取組みを進めていく。

質問

自治組織維持のため区域の再編なども視野に入れた行政の支援が必要と考えるがどうか。

総務部長

判断は地域が主体と考えるが、市は新たに配置した集落支援員などを通じ必要な情報提供と支援を行っていくことを考えている。

質問

令和10年度からの第六次基本構想へ人口減少時代の地域づくりをどう反映させる方針なのか。

市長

今年度中に第五次基本構想の評価を行い来年度に第六次基本構想の策定に着手する予定だ。人口減少に直面する中でも多様な主体の参加と協働で地域の維持と次世代への継承が実現できると考える。



皆で知恵を合わせて希望ある地域をつくろう



児童虐待からこどもたちを守れ！

小林 重太郎



質問

学校等において「こどもの意見表明権」（言っていいたいんだよ）はどのように扱われているか。

教育長

単なる権利の問題を超えて「こどもの安全と心理的ケア」に直結する繊細で重要なことであると認識している。虐待の防止においても、こどもが「声をあげても大丈夫だ」と感じられる環境こそが孤立を防ぎ、早期発見につながる最大の予防線であると考えている。

また多様な相談体制という面では養護教諭、教科担任など複数の目でこどもたちを見ることが、こどもの異変にいち早く気がつくことができ、自らは言いにくいことでも聴く側から促すことで声をあげやすい環境がつけられると考える。

質問

「児童福祉法」「児童虐待の防止等に関する法律」に規定された虐待に気づいた（あるいはそうかもしれないと思った）ときの通告義務は小諸市民に認識されていると言えるか。

市長

虐待の発見、また虐待と思われるこどもがいた場合に市町村や児童相談所などへ通告する義務が広く浸透していない要因として心理的なハードルが存在していると考えている。児童虐待は外部からは発見されにくい。またこどもも自分が悪いと思いこんでしまい声をあげにくい。こども家庭センターとしては関係機関との連携体制の構築、通告の義務や必要性の説明について積極的に取り組んできている。



こどもたちを守れ！



石油製品不足や物価高騰で市民の暮らしは大変

早川 聖



質問

原油価格の高騰は長野県内、そして小諸市内においても深刻な影響を及ぼしている。石油由来製品の品不足や相次ぐ値上げにより、市民生活は圧迫され、地域産業が悲鳴を上げている。医療・福祉・塗装業・板金業・建設業・農業等に関わる影響をどう捉えているか。

市長

「地域未来交付金」等を活用し、遅滞なく対策がとれるよう、商工会議所や農協など、関係する団体の連携を強めたい。

質問

中東情勢が緊迫化し、石油製品の価格高騰や資材不足から暮らし、営業を守り支援する具体策がまったなしだ。小諸市として、中小企業や生活困窮者の支援策などを実施し、市民の防波堤になるべきではないか。本市が掲げる非核平和都市宣言の理念に照らし、市民の平和な暮らしを守っていく姿勢が重要になっている。しかし高市政権が進める軍事優先の政治が医療、



中小企業や生活困窮者の支援策は待ったなし

福祉、教育等、国民の暮らしや平和を脅かしている現状をどのよう

市長

平和都市宣言の宣言をしている市とすれば、平和に基づいて市政を行っていく部分は争う余地はないのでそういう姿勢でやっていきたい。中東情勢を巡り、物価高騰、資材不足から市民の暮らしと営業を守っていくためにも、国の補正予算等の対応を遅滞なく行うとともに国・県からこぼれたものには、市としてもしっかり漏れなく対応できるように準備をしていくことが大事だと思っている。



人口減少時代における持続可能なまちづくり

田邊 久夫



質問

人口減少が進む中でも市民が「小諸市に住みたい」と思えるまちにするため、市民が最も重要と考える施策は何か。

市長

人口減少が進む中でも、市民が住み続けたいと思えるまちを実現するためには、若者・子育て世代が安心して働き、家庭を築ける環境づくりが重要である。企業誘致や創業支援による雇用確保と、住まい・結婚・子育て支援を一体的に進めることで定住を促進し、小諸市が将来にわたって選ばれ、市民が安心して暮らし続けられる持続可能なまちづくりを進める。

質問

小諸市の10年後、20年後の将来像を市長はどのように描いているか。

市長

本市が目指す将来像は、第5次基本構想と小諸版ウェルネスシティの理念に基づく「住みたい、行きたい、帰ってきたいまち・小



持続可能なまちづくりを

諸」を、人口減少という課題に向き合いながら、市民一人ひとりが健康で生きがいを持ち、安心・安全に暮らし、自分らしく活躍できる環境を整えることを目指している。また、市外の人には選ばれ、一度市外へ出た人も再び帰ってきたと思える魅力あるまちづくりを進めることも重要である。人口や経済規模だけではなく、市民の幸福度や満足度を高めることを重視し、市民と行政が力を合わせ、小諸市ウェルネスシティの実現を通じて、将来にわたって住み続けたいと思える持続可能なまちづくりを進めていく。

学校再編事業

気になる！どうなる！どうなった!?

芦原新校工事等の進捗状況

「対話と協働の学び」の「これまでとこれから」

小諸東中学校区の再編検討について

芦原新校放課後の居場所づくりについて



工事中の
仮設校舎

7月3日現在で芦原新校工事は生徒の安全を確保するための仮囲いを設置し、夏休み中の完成に向けて仮設校舎を建設している。また、体育館と仮設校舎をつなぐ渡り廊下及び敷地東側駐車場造成・雨水排水設備工事に着手している。8月28、29日に引越しを行い、31日から仮設校舎での授業、本体建築工事が本格的に開始される予定である。生徒や教職員の安全面への配慮が必須である。

小中学校の改築・再編に関する特別委員会では小中一貫教育推進の3視点の1つ目「対話と協働の学び」の各校の取組状況と「共有の課題」「ジャンプの課題」という2つの課題の位置付け等について説明があった。対話と協働の学びの活性化と深まりのために、教職員の授業研修の場の確保を求めた。

小諸東中学校区の再編計画の検討については、

支援業務委託業者が作成した再編案検討資料の一部抜粋の4案が示された。教育委員会では更に他の案を加えていく考えもある。これらの再編案は児童生徒数の推移、施設規模、通学距離、コスト等の検討を行い、内部での整理をしていく予定。今後開催される懇話会やワークショップにおける市民への周知と十分な協議の実施を確認した。

芦原新校放課後の児童の居場所としては地域交流センター、学びの街角、英語教室、図書館等を使用する。児童クラブ利用者は120名を想定し、受益者負担による適正な費用負担を求める方針。またスクールバス利用者以外で保護者や兄弟の迎えを待つ等の児童が滞在可能な居場所も確保する。保護者やこどもへのアンケート実施やパブリックコメントによる意見聴取及び放課後の居場所の安心安全が保てる職員配置を強く求めた。

手話で話そう・いっしょに手話をしよう!

「小」の指文字 → 「諸」は浅間山の
けむりがもくもく

→ 「市」の指文字

3本の指で
爪をつくる

5本の指で囲って
場所を示す



右人差し指を
上にあげる

左手で切り株をつくり
右人差し指をのせる



動物園のポロシャツ♡



KOMORO ZOO 小諸市動物園 100周年



ぼいす

第36回

キラキラ★小諸人
みんなの食堂の皆さん

今回は『小諸みんなの食堂会（通称「みんなの食堂」）の活動を伺いました。

Q1 どんな団体ですか？

少子高齢社会を迎え、一人で食事をする方々も増えていきます。普段は気楽な一面もあるかと思いますが、たまには大勢の中に身を置くことで、人との繋がりを確かめ合えるような、そのような会が必要だと自分自身が感じていました。

そこで知り合いの飲食店に協力していただいて、誰もが気楽に集まれるようにと、昨年の十一月に発足しました。

Q2 どんな活動をしていますか？

毎月第三週の平日の午後、一時間ほど開いています。参加費500円でドリンクとお菓子が付きます。お隣の人と話したり、みんなで歌ったり、終活に向けた勉強なども楽しみながら行なっています。

Q3 今後の展望は？

定員20名程で行なっていますが、毎回クチコミで新しい参加者が増えてきているので、「みんなの食堂」が色々な地域やお店でも開催できれば良いと考えています。
※協力店募集中です！



傍聴席



井子区
直井吉明 さん

令和8年6月22日に小諸市議会を傍聴させていただきました。市の様々な課題に対して議員の皆さんがそれぞれのテーマで質問。それに対し市執行部の方々が丁寧な対応、

回答を心がけているのを感じ取れ、議員、市役所共に小諸市政にかける熱量が伝わって来ました。

私も有害鳥獣実施隊に参加しています。有害鳥獣対策の質問も有りました。議員の質問に対し市長、担当部長から現在の状況、これからの方向性等の説明しっかりとした議論が交わされました。小諸市における様々な課題、事業等を十分に議論して頂き、安心安全で市民が暮らしやすい小諸

市を目指し、市議会、市役所共に頑張ってください。私も応援しています。



編集後記

入梅間もない頃、せん栽畑の片隅に、小石で囲った直径三十センチ程の小さな畑ができました。
我が家のサクラランボの木は、植えてから3年越して今年初めて十数個の実を付けました。その実を食べた小学二年生の孫は、種を大事に取っておいて蒔きました。小さな畑は、サクラランボの種を蒔くために孫が一生懸命作った畑です。雑草を抜き、小さなシャベルで土を耕し黙々と作業する姿は、いつになく真剣でした。
「芽が出てくるかな？じじ。」

「きっと出てくるよ。春にね。」
AI技術の目覚ましい進歩、社会課題の複雑化など、正解のない時代の中で、子供たちに求められる「生きる力」として思考力、判断力、コミュニケーション能力等の育成が必要といわれますが、その土台となるのは、自分の身の回りの事象に対する好奇心や、挑戦心や向上心です。ゆったり流れる時間の中で子供たちが自由に伸び伸びと感じ、考え、行動することができる環境を整えることは、大人の務めです。（Koba）